

大麦管理情報

(第2号)

令和7年12月8日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

播種時期に降雨の日が多くなったことから、播種時期が遅くなり、そのため苗立が全体的に少なく、現在の茎数もやや少なくなっています。
積雪前に、溝の点検・手直しを行い、消雪後速やかに排水できるように、排水対策を確実に行いましょう。

1 排水対策

- (1) 積雪前に**排水口まで溝がしつかり連結**されているか確認し、溝の手直しを行いましょう。

表 麦の生育調査結果 (12/1 時点)

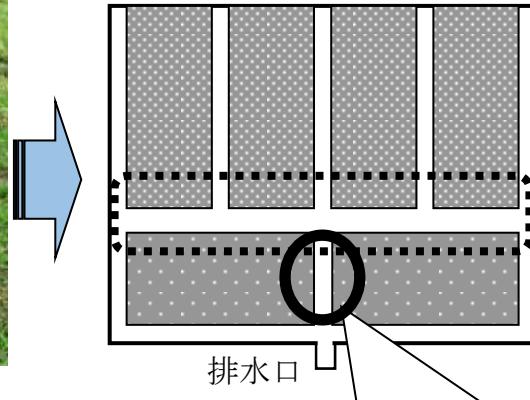
	播種日 (月日)	苗立数 (本/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)
R8年産	10月3日	128	27.3	641	38.8
平年	9月30日	157	30.7	666	37.5

※JA 福光管内 3 ほ場

- (2) 降雨後には場を確認し、水が停滞している所は、**溝を深く掘り下げて排水口につないで**、短時間で排水できるようにしましょう。



溝の連結不足で排水されず、常に水が溜まっている。



溝の手直しや新たに溝を掘ることで排水口周辺の排水溝にしっかりと連結する。

2 年内追肥

- (1) 肥効調節型肥料(基肥一発肥料)を使用しているほ場は、**原則年内追肥は必要ありません。**
- (2) 葉色がさめているほ場では、溝に停滞水があるなど、湿害の影響を受けている場合がほとんどです。まずは**排水対策を徹底**しましょう。
- (3) 茎数が少なく、葉色が極端にさめている場合は、農協や農林振興センターにご相談ください。